

5 プロジェクトの展開

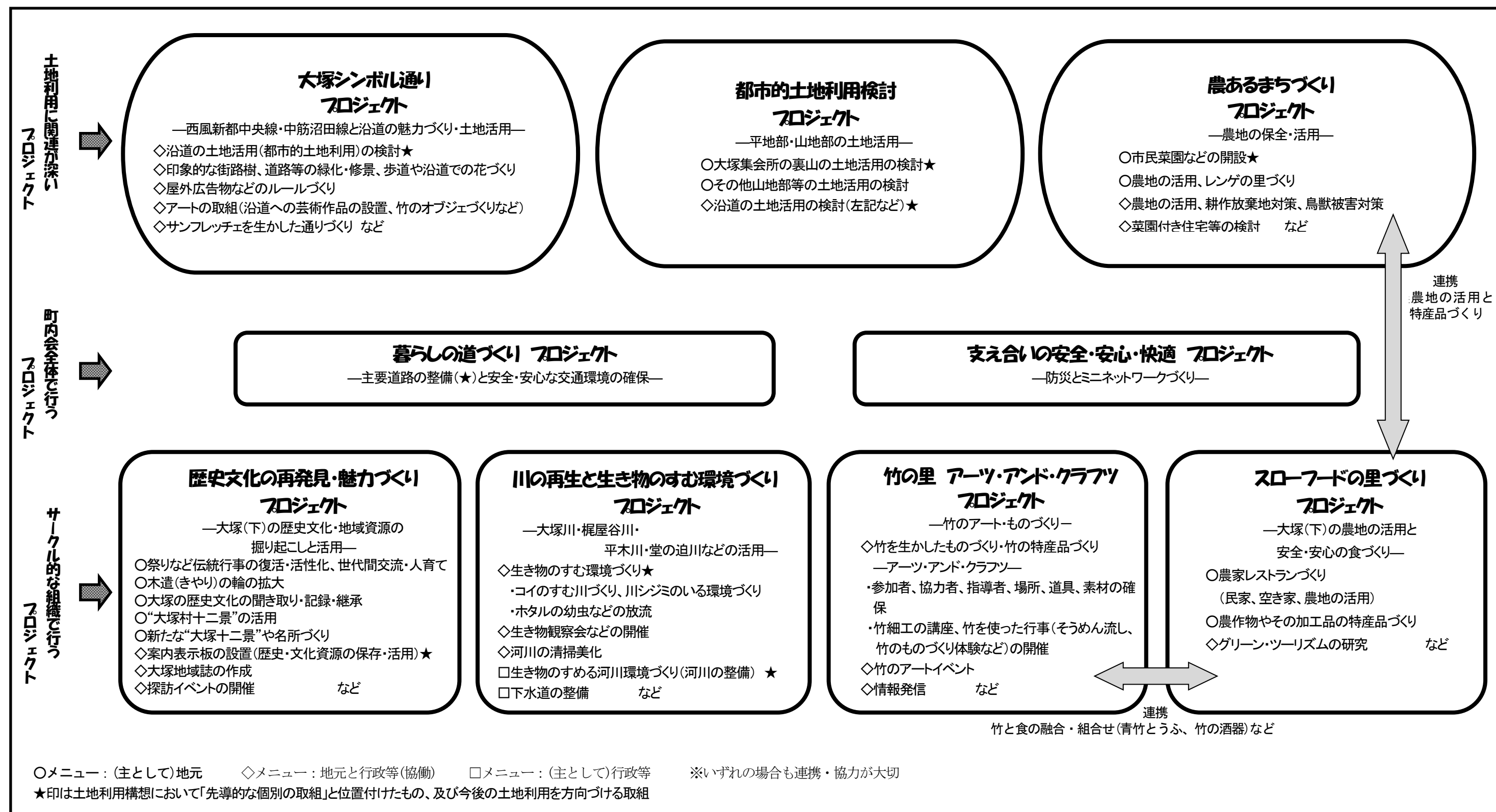
(1) プロジェクトの設定

大塚下における取組メニュー（基本メニューなど）の中から、先導性や特色、必要性の高さなどを考慮し、主要な取組を取り上げ、一部はより具体的なネーミングとし、共有するテーマで組み合わせることによってプロジェクトを構成します。

そのことは、計画のめざす方向性と特色をわかりやすく、明快に示すことになります。

また、個々それぞれに取り組むことに比べ、限られた人材や資金を有効に活用することになるとともに、効果の範囲を広げたり、住民参加の意欲や選択度を高めたりすることにつながります。

■プロジェクトの設定



※木遣(きやり)

木遣歌の略。木遣の時、または地突き(家を建てる前などに地面を突き固めること)の時、祭で山車(だし)を引く時などに歌う歌。木遣とは、重い材木や石を、多くの人が音頭を取りながら運ぶこと。
13世紀の初め、禅僧栄西が、中国(宋)で見聞したことを、建仁寺の新築で取り入れたことが、日本での起こりとされ、その後、全国に広まったとされています。その多くは伊勢参りの人たちが、伊勢木遣(伊勢音頭は伊勢木遣が変化したもの)を持ち帰り、それぞれの地域や時代により独自に変化したようです。

※アーツ・アンド・クラフツ

アーツとは芸術・技術、クラフツとは工芸・技能といった意味です。芸術と工芸の融合によって、工芸品などの付加価値を高めるとともに、ものの作り手と品物と、それを使う人々との間に親密な関係が生まれることも期待できます。

※スローフード

効率やスピードを重視した食や、それからくる生活への反省及び「ファーストフード」への対立概念・活動としてイタリアでスタートした取組。日本でも、各地で郷土食や地域の食材の重視、地産地消、日本酒の再評価など、スローフードにかかわる取り組みがなされています。

※グリーン・ツーリズム

農山漁村地域において休暇を過ごすことによって、自然、文化、人々との交流を楽しむ旅のこと。